

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（JFボランティア）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 日本研究拠点機関助成〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 日本研究スタッフ拡充助成〔欧州・中東・アフリカ〕
- (7) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (8) 日本研究リサーチ・会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (9) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 知的交流フェローシップ（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (7) 知的交流フェローシップ（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (8) 知的交流フェローシップ（派遣）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (9) 知的交流フェローシップ（招へい）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 知的交流会議（助成）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

### 4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈（欧州・中東・アフリカ）

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査 [欧州・中東・アフリカ]

世界の主要な地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。  
合計額 14,246,899円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	欧州日本研究調査(2年次)	欧州地域区分困難	05.11.01～06.10.31	欧州域内の日本研究者・日本研究機関を対象とする調査
2	欧州日本研究調査(3年次)	欧州地域区分困難	06.11.01～07.12.31	欧州域内の日本研究者・日本研究機関を対象とする調査

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。  
合計額 13,093,355円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	鈴木 英夫	白百合女子大学非常勤講師	エジプト	アインシャムス大学外国語学部	07.01.28～07.06.02	修士課程学生及び学部4年生に対する日本文学及び言語学講義
2	山田 進	聖心女子大学教授	エジプト	カイロ大学文学部日本語日本文学科	06.11.01～07.01.31	大学院研究生(予備コース)対象講義及び大学院前期・後期課程学生の論文指導
3	平野 共余子	映画研究者	スロベニア	リュブリャナ大学文学部	06.10.15～06.11.15	日本映画史入門
4	新免 光比呂	国立民族学博物館民族文化研究部助教授	ルーマニア	ブカレスト大学外国語学部日本語学科	06.10.01～06.11.30	学部4年生や修士課程学生を対象とした現代日本文化論講義
5	伊藤 守幸	学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科教授	ヨルダン	ヨルダン大学文学部英文学科	06.10.28～06.11.27	世界文学講座受講学部生に対する『源氏物語』等の読解を通じた、文学から見た平安文化に関する講義

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (JFボランティア) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本国内で条件に合致する専門家を公募して派遣する。本プログラムはジャパンフェウンダーションボランティア制度の一環として実施するものである。

合計額 7,714,110円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	中尾 光延	山口大学名誉教授	ドイツ	フランクフルト大学 日本学科	06.10.01～ 07.02.28	日本文学・文化に関する講義
2	山崎 亮	島根大学教育学部教授	フランス	マルク・ブロック・ストラスブール第2大学	07.01.15～ 07.07.14	日本の伝承文学・神話及び日本民族学概要に関する講義

1. 日本研究事業費 (4) 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧州・中東・アフリカ]

海外の諸大学の日本研究講座に対し、人文・社会科学分野の学者・研究者を国外から客員教授として招するための経費を助成する。

合計額 4,204,152円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	田村 毅	東京大学名誉教授	スイス	ジュネーブ大学文学部日本研究科	06.10.10～ 07.02.18	学部生対象「日本文明・文化講座」講義、大学院生対象「日本の歴史と文明」講義
2	高田 誠	筑波大学大学院人文社会化学研究科教授	ウズベキスタン	世界経済外交大学	06.09.12～ 06.10.20	学部生・大学院生対象「日本の近代化と現代日本語の成立」講義
3	松尾 慎	東海大学日本語文学系助理教授	イラン	テヘラン大学外国語学部	07.01.25～ 08.02.25	学部3,4年生に対する日本語表現演習及び日本語教授法、教員向け日本語教授法セミナー

その他共通経費 0円

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (5) 日本研究拠点機関助成 [欧州・中東・アフリカ]

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 15,925,207円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ロシア科学アカデミー現代日本研究センター	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	紀要『Meet Japan』の発行、リサーチ・会議の実施、論文コンテストの実施、日本関連定期刊行物の送付、事務局経費を包括的に支援
2	ロシア国立極東総合大学	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	訪日研修、ロシア国内研修、論文・教科書等の執筆・出版を包括的に支援

1. 日本研究事業費 (6) 日本研究スタッフ拡充助成 [欧州・中東・アフリカ]

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 10,863,856円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ザグレブ大学	クロアチア	06.10.01～ 07.09.30	日本文学・歴史・社会学講師（日本研究科主任）の給与助成（3年計画事業の2年目）
2	デブレツェン大学	ハンガリー	05.12.01～ 06.11.30	日本語・日本文化講師の給与助成（3年計画事業の2年目）
3	オックスフォード・ブルックス大学	英国	06.08.01～ 07.07.31	国際関係学（日本外交）講師の給与助成（3年計画事業の3年目）
4	サラマンカ大学	スペイン	06.10.01～ 07.09.30	東アジア学教授の給与助成（3年計画事業の1年目）

1. 日本研究事業費 (7) 日本研究リサーチ・会議（助成） [欧州・中東・アフリカ]

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 25,704,989円

	団体名	対象国	期間	事業内容
1	ウィーン大学	オーストリア	06.04.01～ 06.07.31	19世紀の日本浮世絵風刺画における国際シンポジウム
2	国立東洋言語文明学院(INALCO)	フランス	07.01.01～ 07.03.31	谷崎潤一郎研究パリ国際シンポジウム「谷崎潤一郎 - 境界を越えて」

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	団体名	対象国	期間	事業内容
3	テルアビブ大学	イスラエル	06.04.01～ 06.06.30	第5回アジア研究学会年次総会
4	国立政治学財団	フランス	06.04.30～ 07.03.31	日本の新しいパワー：漫画の場合
5	フランス日本研究学会	フランス	06.09.01～ 07.03.31	第7回フランス日本研究学会
6	ワルシャワ大学	ポーランド	06.04.01～ 06.07.31	日本研究国際会議：21世紀-国外における日本研究-
7	ロシア国立図書館	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	日本初期文献のカタログ編集・印刷・及び国際会議（第4巻・完結）
8	ライプツィヒ大学東アジア研究所	ドイツ	06.04.01～ 07.03.31	国際共同プロジェクト「日本近現代思想史を書き直す」
9	ミュンヘン大学日本研究センター	ドイツ	06.05.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
10	チュービンゲン大学	ドイツ	06.06.01～ 07.02.28	国際会議：日本とアジアにおける生命倫理
11	ロンドン大学SOAS	英国	06.04.01～ 07.03.25	第1回SOAS日本語学会議：日本語のモダリティを再考する
12	セインズベリー日本芸術文化研究所	英国	06.04.01～ 06.07.31	日本美術史に関する修士課程ワークショップ
13	リーズ大学	英国	06.05.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
14	シェフィールド大学	英国	06.05.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
15	ライデン大学	オランダ	06.04.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
16	日本資料専門家欧州協会	ベルギー	06.04.01～ 07.03.31	第17回国際日本資料専門家欧州協会研究集会
17	ヴェネツィア大学	イタリア	06.05.01～ 07.02.28	第5回沖縄研究国際シンポジウム-想像の沖縄：その時空間からの挑戦

1. 日本研究事業費 (8) 日本研究リサーチ・会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップなどを開催する。 合計額 11,720,963円

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	ロシア連続講座	在ロシア日本国大使館	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	対日関心が高まる一方、日本についての専門的な知見を得る機会が限られているロシアの学生や一般市民を対象に、ロシア人日本研究者による連続講義をモスクワにおいて実施する。また、地方においても対日関心の喚起を図るため、数ヶ月に一度出張講座も実施。
2	日本研究情報専門家研修	国立国会図書館	韓国 中国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア インド カナダ 米国 ドイツ	06.11.26～ 06.12.16	海外における日本研究の振興を図るべく、各国における日本研究が発展途上である国における日本関係情報の充実と日本研究者等への情報サービス向上に寄与することを目的として、海外の日本研究情報を扱う専門家（司書等）を日本に招へいし、国立国会図書館と共催で研修を実施した。参加者は11名で、出身国は、韓国（2名）、中国、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、インド、カナダ、米国、ドイツ。

1. 日本研究事業費 (9) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州地域の日本研究者や日本研究機関が国境や専門分野を越えて相互に連携・協力するための横断的なネットワーク形式活動を支援する。 合計額 14,506,041円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ヨーロッパ日本研究協会	ドイツ	06.04.01～ 07.03.31	日本研究者間のネットワーク強化、若手研究者の育成を目的として、事務局経費、ホームページ経費、会議参加費等を支援
2	ロシア日本研究者協会	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	紀要・教科書等の出版事業経費、事務局経費等を包括的に支援
3	ロシア日本研究者協会	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	日本研究の分野で優秀な論文を執筆した大学生、大学院生、若手研究者を顕彰

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (1)日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 73,720,501円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	GLAVEVA, Diana Georgieva	ロシア科学アカデミー極東研究所上級研究員	ロシア	横浜国立大学教育人間科学部	06.03.21～ 07.03.20	日本とロシアの伝統的文化における世界観の特徴
2	ASTLEY, Ian	エジンバラ大学日本研究センター上級講師	英国	東京大学東洋文化研究所	05.10.01～ 06.08.31	9世紀初期の東アジアにおける宗教、政治、物質文化：空海「請来目録」の影響
3	SUSLOV, Denis Vladimirovich	ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所研究員	ロシア	西南学院大学法学部	05.10.09～ 06.10.07	地域間外国直接投資に対する北東アジア地域の投資能力の影響
4	HONDRU, Angela Varvara	ヒペリオン大学教授	ルーマニア	大阪外国語大学	05.07.03～ 06.06.30	里神楽 －人と神の和合のシンボル－
5	MAYKOVA, Nadezda Victorovna	ロシア科学アカデミーピョートル大帝人類学民俗学博物館展示部シニア・コーディネーター	ロシア	国立民族学博物館	05.09.10～ 06.09.09	日本とアイヌの織物の伝統的自然素材
6	MOSTAFA, Ahmed Mohamed Fathy	カイロ大学文学部日本語日本文学科助教授	エジプト	沖縄国際大学	06.03.01～ 07.02.28	戦後の沖縄文学、目取真俊（めどるましゅん）を中心に
7	ZEROMSKA, Estera	アダム・ミツケヴィッチ大学東洋学研究講座極東言語研究科教授	ポーランド	国文学研究資料館（人間文化研究機構）	05.08.23～ 06.08.19	日本の演劇史（古代から第二次世界大戦の終わりまで）
8	VYSOKOV, Mikhail Stanislavovich	サハリン国立総合大学学部長	ロシア	北海道大学スラブ研究センター	05.07.06～ 06.07.05	19から20世紀における日本、ロシア帝国、ソ連によるサハリン島植民地化の歴史的出来事
9	DE PRADO YEPES, Cesar	国連大学研究員	ベルギー	東京大学東洋文化研究所	05.05.15～ 06.05.14	ASEAN加盟国+3によるアジア地域統合の外交政策。特に多様化する地域化に、日本はどうコミットするか。

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
10	BRESLAVETS, Andrei Alexandrovich	ウラジオストク経済大学国際関係研究所准教授	ロシア	大阪大学	05.11.17～ 06.06.15	新しい世界秩序の形成：北東アジア統合プロセスの重要項としてのアジア太平洋経済協力という開かれた地域概念、日本の側面
11	THUNMAN, Noriko	ヨーテボリ大学アジアアフリカ語学科日本語科学科長／教授	スウェーデン	東京大学大学院総合文化研究科	05.09.15～ 06.09.14	日本文学史における古典形成のプロセス－ジャンルとしての俳句と芭蕉をめぐって
12	CARLQVIST, Anders	ヨーテボリ大学	スウェーデン	島根大学	06.10.02～ 07.10.01	日本国家成立過程における古代出雲
13	VAN GOETHEM, Ellen E. M. A.	アントワープ大学助教授	ベルギー	立命館大学文学部	07.01.31～ 08.03.12	宗教が長岡京遷都に与えた影響
14	GAFUROVA, Hakima	世界経済外交大学日本語講師	ウズベキスタン	早稲田大学	06.09.16～ 07.08.15	日本文学と芸能を通してみる日本人の自殺観
15	KHISAMUTDINOV, Amir Aleksandrovich	極東国立工科大学教授	ロシア	国士舘大学アジア科	06.12.01～ 07.11.30	ロシアにおける日本文化の普及
16	SANINA, Ksenia Gennadievna	極東国立総合大学東洋学大学助教授	ロシア	京都大学	06.06.01～ 07.05.10	明治時代の現代日本文学の起源及び発展
17	SNITKO, Tatiana Nikolayevna	ロストフ国立経済大学教授	ロシア	東京大学文学部	06.10.01～ 07.10.01	言葉の理解：日本文化とロシア文化
18	PALKIN, Alexei Dmitrievich	モスクワ経済学・言語学大学助教授	ロシア	大阪大学言語文化部	06.11.09～ 07.11.08	日露言語意識比較
19	LIM, Sofya Chununovna	サハリン国立大学教授	ロシア	北海道大学大学院教育学研究科	06.09.06～ 07.09.04	ロシア(サハリン)、日本(北海道)および北アメリカ(カナダ、北極、またアラスカ)の固有の民族の同時代の社会的適応における教育の役割
20	AKBARZADEH, Daryoosh	イラン国立考古学博物館研究部責任者	イラン	大阪大学大学院文学研究科	06.08.12～ 07.02.10	古代の日本とイランの文化的関係：資料および原典上日本で見つかったイラン文化の再考
21	FUKUKAWA, Kyoko	ブラッドフォード大学マネジメントスクール専任講師	英国	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	06.09.25～ 06.12.24	日本における企業の社会的責任に関するコミュニケーションとその実践



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
22	CARIOTI, Patrizia	ナポリ東洋大学助教授	イタリア	立教大学文学部史学科	06.05.31～ 06.10.29	16-17世紀における長崎の唐人に関する基礎的研究
23	YATABE, Kazuhiko	パリ第7大学東洋言語文化学部日本語学科助教授	フランス	多摩美術大学芸術人類学研究所	06.05.15～ 06.09.14	現代日本社会と「第2」の近代－日本における「個人化」過程の諸様相に関する実証研究
24	ZULAWSKA-UMEDA, Agnieszka	ワルシャワ大学東洋学院日本学科助教授	ポーランド	東京大学大学院人文社会系研究科	06.10.07～ 07.10.06	俳諧における付合の研究
25	FRENT, Rodica Monica	バベシュ・ボヨイ大学文学部助教授	ルーマニア	昭和女子大学	06.07.15～ 07.03.14	川端康成、三島由紀夫、村上春樹－詩学的な手段で文学において世界的に成功した作家
26	VOYTISHEK, Elena Edmundovna	ノボシビルスク国立総合大学東洋学学科長	ロシア	札幌大学文化学部	06.09.15～ 06.12.14	伝統的遊戯が日本の精神的文化構築に及ぼす影響について
27	TODOROVA, Stela Atanasova	農業大学准教授	ブルガリア	筑波大学	06.11.01～ 07.10.31	比較分析1950-2005中の日本およびブルガリアの農業政策

2. 人物交流事業費 (2) 日本研究フェロースhip (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 48,815,432円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	MARCON, Federico	コロンビア大学博士課程	イタリア	早稲田大学文学部	05.10.31～ 06.12.29	江戸時代における知識人の起源
2	WEBER, Chantal Marie	ケルン大学東アジア学日本学学部博士課程院生	ドイツ	大東文化大学外国語学部日本語学科	05.05.24～ 06.07.23	日本の茶の湯の宗匠を軸とするコミュニケーションネットワーク－茶の湯のスケールフリーネットワーク
3	DRIXLER, Fabian Franz	ハーバード大学大学院博士課程	ドイツ	帝塚山大学	05.09.02～ 06.08.31	人口増加政策と近世日本における低出生レジームの終焉
4	DELPY, Fabienne M.	スタンフォード大学博士課程学生	フランス	慶應大学	06.01.02～ 06.06.30	日本の六十年代の映像論とその実践

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
5	GODART, Gerard, Rainier, Clinton	シカゴ大学	オランダ	京都大学大学院	06.09.01～ 07.08.31	現代日本哲学の起源：明治期における解釈と区別の問題
6	CRESPIN PERALES, Montserrat	バルセロナ大学フェロースhip研究	スペイン	国際日本文化研究センター	06.06.09～ 06.09.29	現代哲学の歴史における京都学派
7	NARKHODJAEVA, Nigora Faizullaevna	タシケント国立東洋学大学教師	ウズベキスタン	東京大学	06.09.30～ 07.09.28	芥川の創作における個人的概念考察
8	KHALMURZAEVA, Nadira	タシケント国立東洋学大学日本語講師	ウズベキスタン	早稲田大学日本語教育研究科	06.10.13～ 07.12.12	日本語研究
9	MENGEL, Maria-Mihaela	ケルン大学日本学研究所博士課程学生	ドイツ	京都大学大学院 地球環境学室	06.10.01～ 07.09.30	愛の浮世－アニメ、アイデンティティ、また日本
10	HEINDORF, Viktoria	ミュンヘン大学日本センター助手	ドイツ	東京大学社会科学研究所	06.05.17～ 06.10.17	情報技術革命を背景とした職業技能形成および人的資源開発－日本の事例研究－
11	DAY, Kikutsubo G.M.M	ロンドン大学修士課程	英国	大阪芸術大学	07.03.13～ 07.09.12	過去を思い出す：現代情勢における古来尺八
12	TAKAGI, Siu mei	ケンブリッジ大学修士課程	英国	金沢大学	07.03.25～ 07.12.09	初期江戸時代における、女性、教養と読書
13	COOK, Emma, Elizabeth	ロンドン大学修士課程	英国	筑波大学	06.08.01～ 07.07.31	現代日本におけるフリータ：男性性民族学
14	LOBETTI, Tullio, Federico	ロンドン大学修士課程	イタリア	慶應義塾大学	06.06.05～ 07.06.01	現代日本宗教の文脈における肉体と修業
15	GOTTARDO, Marco	コロンビア大学修士課程	イタリア	東京大学大学院人文社会系研究科	06.09.13～ 07.11.12	徳川時代の民間信仰：富士山における輪廻
16	SOLIMAN, Alaaeldin Elhassan	カイロ大学文学部日本語日本文学科講師	エジプト	東洋大学文学部	06.07.31～ 07.09.29	所有構文－アラビア語エジプト方言と日本語の対照研究－
17	BARBARO, Paolo	国立高等研究院宗教学部博士課程	フランス	三重大学	06.10.01～ 07.10.09	日本の参詣－紀伊半島の地域調査

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
18	JAZWINSKA, Maria	ポーランド科学アカデミー大学院生	ポーランド	京都国立博物館	06.09.06～ 07.02.05	日本の織物
19	BINCSIK, Monika	ホップ・フェレンツ東洋美術館（ブダペスト工芸美術館）日本美術担当学芸員	ハンガリー	昭和女子大学	07.03.27～ 08.01.25	明治期の古美術商会史－ヨーロッパでの日本工芸品、特に漆器の収集活動史、ハンガリーを中心に

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェロシップ(短期) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学分野の学者・研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 10,543,485円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	TAKAGI, Kayoko	マドリッド・アウトノマ大学助教授	スペイン		06.12.20～ 07.02.03	源氏物語のスペイン語への翻訳のための準備資料収集
2	JAHN, Gisela	ベルリン自由大学美術史研究所東アジア学科客員教師	ドイツ	東京美術大学	06.08.23～ 06.10.21	日本の伝統陶磁器 1900-1989の伝統と革新
3	PAUER, Erich	マークブルク・フィリップス大学日本研究センター教授	ドイツ	東京大学社会科学研究所	07.02.16～ 07.03.31	工部大学校・明治3年から18年 - 創立、組織、卒業生と業績
4	SCHMIDT, Carmen, Elisabeth	オスナブリュック大学日本研究センター社会科学部上級講師、日本研究C副所長	ドイツ	東京大学社会科学研究所	06.07.18～ 06.09.15	日本の大学改革
5	DAHER, Massoud Abdallah	レバノン大学教授	レバノン	東京外国語大学	06.07.10～ 06.09.07	日本の現代史
6	EIEDAT, Mohammad Khair Suleiman	ヨルダン大学人文・社会科学学部助教授	ヨルダン		06.06.26～ 06.08.10	文化的アイデンティティおよび政治改革

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
7	COCI, Gianluca	ナポリ大学非常勤講師	イタリア	早稲田大学 教育・総合科学学術院	06.08.23～ 06.10.22	現代日本文学の革新的天才の安部公房、大江健三郎とその後継者

2. 人物交流事業費 (4)知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育などの各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察などの機会を提供する。

合計額 2,929,530円

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
1	ABDULLAYEV, Ravshan	タシケント国立東洋学大学学長	ウズベキスタン	06.12.06～ 06.12.15	ウズベキスタンにおける日本語教育・日本研究の中心的な機関であるタシケント国立東洋学大学よりアブドラエフを招へいし、日本の学術機関との連携強化、同国の高等教育制度改革について関係者との意見交換を実施
2	EL BARADEI, Mona	カイロ大学政治経済学部学部長	エジプト	06.12.10～ 06.12.20	中東地域における日本研究の中心的な機関の一つであるカイロ大学政治経済学部よりエルバラダイを招へいし、中東地域と日本との知的・学術的な交流を深めるため、日本の主要な政治・経済研究機関等への訪問を実施

2. 人物交流事業費 (5)知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間の構築、強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察などの機会を提供する。

合計額 680,170円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	木村 喜博	東北大学大学院教授	クウェート	クウェート大学社会科学部	06.12.02～ 06.12.07	クウェート大学社会科学部主催の国際シンポジウム「第3回国際会議」に木村喜博（東北大学大学院教授）を派遣

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 2. 人物交流事業費 (6)知的交流フェローシップ(派遣) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 13,316,937円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	大場 秀章	東京大学総合研究博物館・教授	オランダ	シーボルト・ハウス	06.07.17～ 06.09.28	21世紀のシーボルト像を探る
2	川野 英二	大阪大学大学院人間科学研究科・助手	フランス	フランス国立社会科学高等研究院	06.08.01～ 07.07.31	大都市圏における貧困層の空間的排除と社会的紐帯の実証的研究
3	深澤 龍一郎	京都大学大学院法学研究科・助教授	英国	ブリストル大学法学部	07.03.01～ 08.02.29	行政裁量の法的統制の研究：ルール対裁量
4	中村 尚史	東京大学社会科学研究所・助教授	英国	ロンドン大学LSE経済史学科	07.03.15～ 08.03.13	帝国と技術移転 —20世紀初頭における日英関係鉄道史—

### 2. 人物交流事業費 (7)知的交流フェローシップ(招へい) [欧州・中東・アフリカ]

日本において人文・社会科学分野の研究を行なう諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 12,245,607円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	MAGRADELO, John Olushola	アフリカ・アジア研究センターシニアリサーチフェロー	ナイジェリア	慶応義塾大学	06.02.27～ 06.04.06	日本と朝鮮半島
2	BEINORIOUS, Audrius	ヴィルニウス大学助教授	リトアニア	南山大学	06.03.30～ 06.04.30	伝統的日本文化における占星術
3	MIHALKA, Reka	エドヴェシュローランド大学博士課程	ハンガリー	京都大学	06.03.27～ 06.05.26	二人のアメリカ人アーティストの作品における日本の影響の比較研究
4	ZAKHIDOV, Sherzod	戦略地域研究所所長	ウズベキスタン	東京国際大学	06.03.22～ 06.05.20	日本のPKO政策の発展と国際安全保障におけるその役割について
5	MAVLONOV, Ibromhim	世界経済外交大学実践外交学科長	ウズベキスタン	早稲田大学	06.07.12～ 06.09.08	中央アジア諸国に対する日本の経済外交
6	GRAVENIR, Frederick Quaye	ケニヤッタ大学教授	ケニア	秋田大学	07.03.02～ 07.04.19	大学における主流の研究についての日本・ケニアの比較

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
7	KRAVALIK, Zsuzsanna	都市計画センター研究員	ハンガリー	政策研究大学院大学	07.03.18～ 07.04.24	日本の住宅地のデザイン
8	HORDOS, Marianna	エドヴェシュ・ローランド大学准教授	ハンガリー	神戸松蔭女子大学	07.01.13～ 07.02.17	日本語における節構造と語順：最適理論によるアプローチ
9	KALINOWSKA, Anna	ヴロツワフ大学大学院生	ポーランド	東北大学	07.01.04～ 07.02.17	日本の広告手法：ポーランド・ドイツの広告システムとの比較研究
10	AKULOV, Alexander	キリスト教人文アカデミー大学院生	ロシア	千葉大学	06.11.02～ 06.12.16	現代アイヌ民族のアイヌ言語能力の測定
11	SATYBALDIEVA, Orozbekovna	ジャーナリスト	キルギス	特定非営利活動法人 難民を助ける会	06.11.11～ 06.12.16	日本における健康とHIV/AIDS
12	NDJAKA, Gregoire	ジャーナリスト	カメルーン	NHK放送文化研究所	07.01.17～ 07.02.28	日本のメディアにおけるアフリカ報道

2. 人物交流事業費 (8)知的交流フェローシップ（派遣）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 6,805,835円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	辻上 奈美江	神戸大学大学院国際協力研究科	サウジアラビア	キングファイサルイスラム研究センター	07.01.07～ 07.04.06	サウジ女性の社会参加と市民社会化の可能性（渡航時期未定）
2	木村 由香	桜美林大学大学院国際学研究科	チュニジア	AID	07.02.10～ 07.05.09	チュニジアにおける地域開発とNGOの活動：地域間格差是正に向けて
3	上山 一	一橋大学大学院経済学研究科	バーレーン	バーレーン調査研究センター	06.12.15～ 07.03.02	イスラム銀行におけるマネージメントおよび企業統一についての実態研究
4	松本 菜穂子	非常勤講師	トルコ	ビルギ大学	07.02.02～ 07.04.03	音楽・舞踏活動に見るトルコ国民のアイデンティティの多面性：コーカサス系を中心に
5	三代川 寛子	上智大学大学院グローバルスタディーズ研究科	エジプト		06.12.01～ 07.02.28	現代エジプトにおけるコプト・キリスト教徒の市民社会組織の活動と国民統合

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (9)知的交流フェローシップ (招へい) (中東) [欧州・中東・アフリカ]

中東に関する次世代日本人研究者を育成するためにフェローシップを供与する。

合計額 15,801,926円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	AL-HARTHI, Hamood K AL-NASSERI, Hamood Khalfan CHAABANE, Sirine ELSHAIR, Iman POLAT, Serdar SHEKARCHI, Ahmad TALIB, Abdelmoumen	スルタン・カブース大学学生部副学部長 教育人材開発省次長 カルタゴ11月7日大学法学修士課程在籍 カイロ大学生政治経済学部助手 国家計画庁アシスタントプランニングエキスパート シャヒード・ベヘシュティ大学社会学部 高等教育省人材育成部部長	オマーン オマーン チュニジア エジプト トルコ イラン モロッコ		06.06.27～ 07.02.28	日本にかかる課題、日本と中東・北アフリカとの共通課題、または国際的な課題に関する訪日調査・研究を奨励するとともに、日本と中東・北アフリカ諸国との知的対話のネットワーク構築を担う次世代の人材育成ならびに日本におけるネットワーキングを目的として、中東・北アフリカ地域の若手研究者、ジャーナリスト等に対して訪日の機会を提供する。
2	MAHMMOUD Abdul-Wahid		イラク	東京外国語大学外国語学部	07.03.01～ 07.04.15	日本とイラクにおける近代化の比較研究

3. 催し等事業費 (1)知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

日本と欧州・旧ソ連の共通課題などをテーマとするセミナーやシンポジウムを開催する。

合計額 14,432,079円

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
1	日欧知的交流アルザス会議	フランス	キンツハイム	アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA)	06.06.30～ 06.07.02	欧州の日本研究者及び日本の欧州研究者が集い、日本と欧州の今後の知的交流における優先課題の策定及びこれらの課題に対する解決方法・取り組み方を討議する会合を開催
2	民主主義の諸相	ドイツ	ベルリン	ベルリン日独センター	06.09.20～ 06.09.22	「民主主義の諸相－前提条件、発展過程、現代における課題」と題するシンポジウムを開催。欧州、中東、東アジアなどの事例を取り上げながら、民主主義の諸相について多角的に議論

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
3	日露フォーラム	ロシア	東京	ロシア戦略策定センター	07.03.18～ 07.03.20	「グローバル化の中でのアジア太平洋地域における日露関係の展望」を主題として、日露両国をとりまく様々な課題を議論するフォーラムを開催し、両国の有識者や政府関係者による意見交換を実施

3. 催し等事業費 (2)知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と欧州・旧ソ連の非営利団体が開催するセミナーやシンポジウムに対して、その開催経費の一部を助成する。  
合計額 36,641,893円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	上智大学 2006 ザビエル生誕 500年記念企 画：ザビエル国 際学術フォーラ ム〈国際学会と シンポジウム〉	全世界区分困難	上智大学	06.12.10～ 06.12.10	フランスコ・ザビエル生誕500年を機に、平成18年4月から平成19年3月をザビエル記念年間とし、異国文化圏人間交流の歴史的ありかたを振り返る学術的企画を実施し、その中心事業として国際学術シンポジウムを開催
2	地球研第一回国 際シンポジウム	全世界区分困難	地球研第一回国 際シンポジウム 組織委員会	06.11.07～ 06.11.08	国際シンポジウムの開催とその成果の出版。「環」の解明テーマを揚げ、「水に流す文化」と「水に固執する(略縛)文化」を対比することで「環の解明」がもたらす水問題「未来可能性」について提言
3	ワレサ元大統領 来日記念講演会 とワークショップ	ポーランド	セシリアの会	07.03.09～ 07.03.09	ポーランド元大統領のワレサ氏を招へいし、一介の労働者から労組「連帯」を立ち上げ、自国を共産主義から民主主義へと改革された彼の偉大な情熱と知識に耳を傾け、世界平和に向けて、彼の体験を共有するワークショップを開催
4	法整備支援にお ける文化的価値 をめぐる対話～ 中央アジア・モ ンゴル国に対す る法整備支援機 関による理念的 検討～	モンゴル	法整備支援にお ける文化的価値 をめぐる対話実 行委員会	06.10.07～ 06.10.08	中央アジア・モンゴルにおける法整備支援で重要な役割を果たしてきた日本・ドイツ・欧州連合の法学研究者や法整備支援に関わる実務家、開発援助機関、司法機関、NGOが対話する国際シンポジウムを開催
5	伝える人建てる 人-文化材と建 築	フランス	関西日仏学館	06.04.21～ 06.04.23	日本においては従来等閑に付されてきたが、西欧においてはきわめて現在の話題である「文化財」という概念を巡る、日仏双方の異なる視点・考え方・話題による比較研究



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
6	2006日ロ友好フォーラム	ロシア	日ロ友好フォーラム再生代表 NPO法人日本・ロシア協会	06.10.18～ 06.10.25	日ロ交流の主要団体の連合体としてミッションを組織し、ロシアの各界の代表と今後の日露交流のあり方を討議するフォーラムを開催
7	都市空間＝生活空間日本と西洋における建築、社会学、芸術、哲学の中での空間理論	ドイツ	ベルリン日独センター	06.10.19～ 06.10.20	建築家、庭園建築家、芸術家に加えて、都市計画、芸術理論、哲学、社会学、日本研究の研究者による学際的研究プロジェクト「都市－空間－変遷」の成果を発表する会議
8	社会科学の諸問題	ドイツ	アジア問題研究所	06.11.10～ 06.11.12	日本社会に関する専門家が集まり、現代日本における社会科学の重要性と、グローバル化世界において日本の社会科学が直面する問題についての討議を実施
9	ポーランド－日本小経済フォーラム プシミシエル2006	ポーランド	Fundacja Polsko - Japonska ” Yamato” Centrum Kultury Japonskiej w Przemyslu	06.05.12～ 06.05.13	相互理解の促進及び日本とポーランドの関係強化、また異なる様々な分野での協力について継続的かつ活発なプラットフォームの構築を目的として、環境、投資、ポーランドの経済状況、プシエミシル市との文化・教育交流について討議
10	復興するシルクロードにおけるウズベキスタンと日本	ウズベキスタン	タシケント日本アラムナイ・センター	06.05.12～ 06.05.14	日本と中央アジアの「シルクロード外交」を現代的コンテキストで再解釈し、活性化のための方策を検討する会議
11	日ロ北方領土問題解決への新構想：オーランドモデル	スウェーデン	ストックホルム大学 アジア太平洋研究所	06.06.01～ 07.03.31	1917年フィンランドがロシアから独立した際にオーランド諸島の帰属問題を解決した国際連盟裁定の発想に学んで、北方領土問題解決の糸口を、ヒューマン・セキュリティと国家主権の相対化の視点から考察
12	セッション438 中国：国際経済の新しいエンジンか	オーストリア	ザルツブルクセミナー	06.12.05～ 06.12.10	日本からファカルティとフェローの参加を予定しており、複数国から専門家が集い、国際的かつ学際的なアプローチを必要としている議題を討議。セッション438は「中国：国際経済の新しいエンジンか」について討論
13	東から見たアイデンティティ	フランス	欧州評議会	06.04.01～ 07.03.31	「東から見たヨーロッパ」は、欧州評議会の「アイデンティティ、共通の価値及び市民性」プロジェクトの一環として、第3回欧州評議会首脳サミットのアクションプランの結果として開催
14	日本とEU：2000年代中盤に向けての課題	ベルギー	汎欧州政策研究会	06.11.23～ 06.11.24	日-EU関係の様々な側面を扱う学者の恒常的なコミュニティを構築することを目的とした会議

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
15	シーボルトコレクション会議	オランダ	ライデン民族学博物館	06.07.01～ 06.07.03	日本の援助で設立されたシーボルトハウスにおける有効な展示方法を日蘭の有識者によって検討する会議
16	第4回中・東欧21世紀フォーラム「新時代のユーラシア安全保障」	欧州地域区分困難	北海道大学スラブ研究センター	06.09.10～ 06.09.14	2006年9月11日から13日にポーランドのワルシャワにおいて国際シンポジウムを開催する。日本、中国、韓国、インド、中・東欧、旧ソ連諸国、その他の欧州諸国より計21名が参加
17	同質性と多文化主義－日本とドイツにおける移民問題	ドイツ	ベルリン日独センター	06.11.06～ 06.11.20	本シンポジウムは日本とドイツにおける移民問題を、特に経済的、法的、社会的側面について議論
18	国際会議「占領と撤退：日本、ヨーロッパ、パレスチナ、イラク」	英国	グラスゴー大学	06.05.11～ 06.05.13	第二次世界大戦後の日本と欧州の占領と撤退経験を振り返り、現在の中東における問題に活かそうとする試み。歴史、政治、国際法などの学者や弁護士が集い、ひとつのテーマに関する学際的会議を開催
19	社会調査のインフラストラクチャー	全世界区分困難	社会調査とそのインフラストラクチャーのコンソーシアム	07.03.30～ 07.03.30	日本の研究者・専門家・実務家にコンソーシアムに参加してもらい、データの国際交流のためのインフラストラクチャーの構築を進めるための議論を展開

3. 催し等事業費 (3)知的交流会議（助成）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

中東との知的交流に資するセミナーなどの催しを支援する。

合計額 12,315,455円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日本・トルコ協会創立80周年記念シンポジウム「21世紀の日本・トルコ関係～日本はトルコをどう捉えるべきか」	トルコ	日本トルコ協会	06.04.05～ 07.03.31	設立80周年記念行事の一環として、日本におけるトルコ研究者とトルコからの招へい者によるシンポジウムを開催
2	高レベル専門家会議「イスラム世界と西側世界」	全世界区分困難	インターアクション・カウンシル日本委員会	06.04.05～ 07.03.31	シュミット元ドイツ首相をはじめとする政治指導者6名17カ国の学者・政治指導者・地域専門家たちが「文明の衝突」を回避するための方策を論議・考察し、会議の結果を政策提言として世界に広く普及

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	中東をめぐる三者間対話の構築	中東地域区分困難	日本中東学会	06.04.05～ 07.03.31	日本中東学会の国際交流事業の一環として、日本、中東、欧米を含む中東研究者を第2回中東研究世界大会(WOCMES 2、アンマン)に派遣
4	トルコ・イスラエルとの対話	トルコ イスラエル	財団法人日本国際交流センター	07.03.20～ 07.07.31	日本から有識者をトルコ、イスラエルに派遣し、オピニオンリーダーとの対話、公開イベントを実施

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈 (欧州・中東・アフリカ)

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書などを寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため、国際交流基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 31,739,020円

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
1	アイスランド	アイスランド国立大学図書館	National and University Library of Iceland	37
2	アゼルバイジャン	ハザル大学	Khazar University	108
3	イタリア	トリノ大学 東アジア学科	University of Torino	62
4	イタリア	フィレンツェ大学	University of Florence	86
5	イタリア	ローマ大学 "ラ・サピエンツァ" 東洋研究学部	University of Rome "La Sapienza"	41
6	ウクライナ	イワン・フランコ記念リヴィフ国立大学文学部図書館	The Library of Ivan Franko National University	40
7	ウクライナ	キエフ国立言語大学	Kiev National Linguistic University	116
8	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	Tashkent State Institute of Oriental Studies	97
9	ウズベキスタン	世界経済外交大学 実務外交講座	University of World Economy and Diplomacy	37
10	エジプト	アインシャムス大学 外国語学部日本語学科	Ain Shams University	124
11	エジプト	アレキサンドリア図書館	Bibliotheca Alexandria	31
12	エストニア	タリン大学エストニア人文大学	Tallinn University Estonian Institute of Humanities	48
13	エチオピア	アディスアベバ大学	Addis Abeba University	106

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
14	オーストリア	ウィーン民族博物館	Museum of Ethnology Vienna	49
15	オランダ	ライデン大学 日本研究センター	Leiden University	36
16	カザフスタン	カザフ国立学術図書館	National Academic Library of Republic of Kazakhstan	111
17	ガボン	国立図書館	National Library	103
18	キルギス	キルギス民族大学	Kyrgyz National University	58
19	クウェート	クウェイト大学	Kuwait University	109
20	グルジア	日本センター	Japan Center	51
21	クロアチア	ザグレブ大学哲学部インド及び極東語学課	Faculty of Philosophy, University of Zagreb	55
22	ケニア	ケニヤッタ大学	Kenyatta University	49
23	サウジアラビア	キングファハド石油鉱物大学	King Fahd University of Petroleum and Minerals	22
24	シリア	アレッポ大学	University of Aleppo	37
25	スウェーデン	ストックホルム商科大学日本研究所	The European Institute of Japanese Studies (EIJS) at Stockholm School of Economics (SSE)	54
26	スペイン	サラマンカ大学 西日センター	Salamanca University	41
27	スロベニア	リュブリャーナ大学	University of Ljubljana	131
28	タンザニア	イリング州立図書館	Tanzania Library Service Board	109
29	チェコ	ブルノ・モラヴィア美術館	Moravian Gallery in Brno	19
30	チュニジア	チュニス・エル・マナール大学人文科学高等研究所	High Institute for Human Sciences, Tunis El Manar University	110
31	デンマーク	コペンハーゲン大学 アジア研究学科	University of Copenhagen	64
32	ドイツ	ヴュルツブルク大学 東・南アジア文化研究所	Wuerzburg University	57
33	ドイツ	ケルン大学 日本学科	University of Cologne	12
34	ドイツ	デュッセルドルフ大学東アジア研究所	University of Dusseldorf	17
35	ドイツ	ハイデルベルグ大学東アジア研究センター	University of Heidelberg	25

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
36	ドイツ	ベルリン・フンボルト大学 日本語・日本文化センター	Berlin Humboldt University	21
37	ドイツ	ベルリン自由大学	Free University Berlin	29
38	ドイツ	ライプツッヒ大学東アジア研究所	Leipzig University, East Asian Institute	17
39	トルコ	ボアジチ大学	Bogazici University	63
40	ノルウェー	オスロ大学 図書館	University of Oslo Library	46
41	ハンガリー	カローリ・ガーシュパール・カルビン派大学	Karoli Gaspar University of the Reformed Church	50
42	ハンガリー	パーズマーニ・ペーテル大学	Pazmany Peter Catholic University	32
43	ハンガリー	ペーチ大学	University of Pecs	46
44	フィンランド	オウル大学日本研究所	University of Oulu	45
45	フランス	パリ第7大学	University of Paris 7	25
46	フランス	マルセイユ技術学校	Marseille School of Engineering	99
47	フランス	リール第3大学 ロマンヌ・スラブ・東洋研究学部	Universite Charles de Gaulle - Lille III	28
48	フランス	欧州アルザス日本学研究所	European Center for Japanese Studies in Alsace	63
49	ブルガリア	ソフィア大学 東洋語文化センター	Sofia University "St. Kliment Ohridski"	32
50	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	Catholic University of Leuven	72
51	ポーランド	アダム・ミツキエヴィチ大学東洋学研究所	Adam Mickiewicz University	72
52	ポーランド	プシェミシル日本文化センター	Polish-Japan Foundation "Yamato", Center of Japanese Culture in Przemysl	29
53	ポーランド	ポズナニ日本文化センター	Japanese Culture Institute in Poznan	110
54	ポーランド	ヤギェウォ大学	Jagiellonian University	37
55	ポルトガル	ミーニョ大学	University of Minho	57
56	マダガスカル	科学技術情報・資料センター	Technic and Scientific Information and Documentation Center	12
57	モルドバ	モルドバ日本交流財団	Foundation for Moldovan-Japanese Relations	37

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
58	ヨルダン	ヨルダン大学 図書館	The University of Jordan	53
59	ラトビア	ラトビア大学現代言語学部東洋学科	University of Latvia	71
60	リトアニア	マリヤンポレ市・ペトラスクリチャウ チューナス市立図書館	Marijampole Petras Kriauciunas Public Library	15
61	ルーマニア	ブカレスト大学	University of Bucharest	65
62	ルクセンブルグ	ルクセンブルク国立図書館	National Library Luxembourg	22
63	レバノン	セント・ジョセフ大学	St. Joseph University	9
64	ロシア	オムスク州立プーシキン図書館	Omsk Region Scientific Pushkin Library	37
65	ロシア	マヤコフスキー市立公共中央図書館	The Mayakovsky Central City Public Library	131
66	ロシア	ロシアキリスト教人文科学大学(図書館)	Russian Christian Academy for the Humanities	33
67	ロシア	ロシア科学アカデミー 図書館	Russia Academy of Sciences Library	78
68	ロシア	ロストフ国立経済大学	Rostov State University of Economics	110
69	ロシア	極東国立学術図書館	Far Eastern State Research Library	32
70	ロシア	極東国立工科大学東洋大学	Far Eastern National Technical University Oriental Institute	32
71	英国	オックスフォード大学 ボドリアン図書 館	University of Oxford	3
72	英国	ケンブリッジ大学 図書館	Cambridge University Library	13
73	英国	マンチェスター大学	University of Manchester	58
74	英国	リーズ大学	University of Leeds	53
75	南ア共和国	クワズル・ナタール大学	University of KwaZulu Natal	106